

No.	交付対象事業の名称	事業概要	実施内容	総事業費 (うち国からの交付金額)	重要業績評価指標 (KPI)			自己評価	最終評価
					指標内容 (指標値)	目標値 (R9)	実績値 (R7)	事業効果	外部有識者からの主な意見
1	多様な越境機会の創出による地域課題解決型人材育成事業	山形県を中心とする全国の43団体とともにR8年度から開始したプロジェクト。このうち和気町は以下の事業に参画する。 【1】デジタル活用による地域・学校の壁を超えた課題解決型人材の育成 【2】新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出 【3】自走化に向けた成果の見える化、及び社会資源獲得 参画市町村(官)、各地域の高校(学)に加えて、地域教育、人材、旅行、国際などの分野に専門性を持つ民間・公益団体(産・金)が参画し、小規模市町村ネットワークと連携する。これにより、越境プログラム、海外との連携、持続可能な運営に向けた支援など、多角的な取組を推進する。さらに各地域においても、商工会等の経済団体、地域金融機関、大学・研究機関など、多様な関係者が連携し、地域資源を活かした交流機会や大学・研究機関の専門的な知見等を反映し、取組の改善にも取り組む。	【1】デジタル活用による地域・学校の壁を超えた課題解決型人材の育成 ・オンライン課外活動等の実施(委託費等)・人材育成サポートスタッフの配置・育成(人件費等) 【2】新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出 ・海外も含む多様な生徒募集の実施(実施経費等) ・多様な留学生の受け入れ体制整備(委託費等) ・多様な留学生の受け入れ施設の整備・改修(改修費等) ※交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費の対象 【3】自走化に向けた成果の見える化、及び社会資源獲得 ・社会資源獲得プロジェクトに係る費用(委託費等)	参加団体で 3,789,420千円 (R7:1,300,380千円) 交付金額 和気町 8,458,100円 補正 10,733,000円 (R8年度へ繰越) 補助率 1/2	外部から地域に越境し、居住する中高生の数	909人	681人	A:相当程度効果があった 町内唯一の高校である和気閑谷高校を圏域の拠点校として存続させるための魅力化事業の一環として実施した。 令和7年度までの島根県を中心とする地方高校への留学という選択肢を確保しつつ、新たに山形県を中心とする全国の43団体とともに、「小規模市町村ネットワーク」を形成し、事業の取組を行った。 これによって、令和4年度5人、令和5年度10人、令和6年度6人の県外からの留学生を確保できた。また、令和7年度には8人を迎え入れることができている。これまで県外学生の受入者に対する下宿補助を行っていたが、令和6年度から暫定寮が設置されたため終了し、令和7年度に地域学習交流センターが完成したことで、受入体制が整備された。 地域と高校をつなぐコーディネーターを配置したことにより、高校が地域を題材にした特色ある科目が設定し、地域との関わりの中での学習機会が創出されている。また、運営についても地域と共に考えていく、コミュニティスクールに向けた取組が行われている。 今後もこれらの活動を継続し、和気閑谷高校の存在意義を高め、存続につなげていく。	・高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクトは、今後も進化させていけば良い。 ・他の高校と差別化を図るために、部活動などで特色のある活動を取り入れるといった和気閑谷高校ならではの取組をしているのが良い。

S:非常に効果的であった
A:相当程度効果があった
B:効果があった
C:効果がなかった